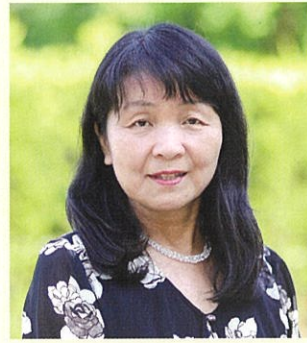


児童文学『奉還町ラプソディ』出版記念

村中李衣 トークイベント&サイン会

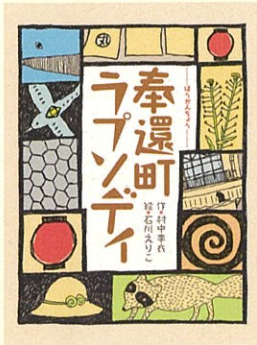
なんとたつて

奉還町が好き！



■村中李衣 (むらなかりえ)

山口県生まれ。児童文学作家、ノートルダム清心女子大学教授。〇歳から百歳まで絵本の読みあいを続ける。『チャーシューの月』(絵/佐藤真紀子 小峰書店)で児童文学者協会賞、『あららのはたけ』(絵/石川えりこ 偕成社)で坪田譲治文学賞を受賞。主な作品に、『こくん』(絵/石川えりこ 童心社)、『かあさんのしっぽぽ』(絵/藤原ヒロコ)、『よるのとしよかんだいぼうけん』(絵/北村裕花)、『マネキンさんがきた』(絵/武田美穂) (以上 BL 出版) ほか多数。『女性受刑者とわが子をつなぐ絵本の読みあい』(かもがわ出版) など、読みあいに関する著書もある。



作/村中李衣
絵/石川えりこ
定価 本体 1,600 円+税
B L 出版 当日、書籍の販売もごさいます。



吉備路文学館
KIBIJI LITERARY MUSEUM
〒700-0807 岡山市北区南方3-5-35
TEL(086)223-7411 FAX(086)223-7418
http://www.kibiji.or.jp

※なるべく公共交通機関をご利用ください。
お車で越しになる場合は、
近隣の有料駐車場をご利用ください。

※ご予約時に「午前の部」「午後の部」
いずれかを指定ください。

086-223-7411

連絡先: 吉備路文学館

【お申込】 参加ご希望の方は、必ずお電話にてご予約をお願いします (先着順)。

※シルバー割引など各種割引あり

(一般) 四〇〇円 大学・高校生 二〇〇円 中学・小学生 二〇〇円)

【参加費】 無料/ただし、入館料は必要です。

【定員】 各三〇名

【会場】 吉備路文学館

十二月十一日(日) 午前の部 10時から 午後の部 12時から

(午前と午後で内容が異なります)

大政奉還で配られた奉還金をもとに、武士が商売を始めたという奉還町商店街。この歴史あるユニークな街にすむ人々を子どもたちの目線で描いたフィクション『奉還町ラプソディ』の出版を記念して、作者の村中李衣さんに制作秘話や街への思いを語っていただきます。ぜひ、ご参加ください。

